

第14回 日本カメ会議



2012年12月8日(土)・9日(日)の2日間、東京都武蔵野市にある日本獣医生命科学大学を会場として、日本カメ会議が開催された。**日本中のカメの研究者、カメ好き**が、約150名も集まってきた。会場は立ち見が出るくらいの大盛況で、カメへの熱い思いと意見が飛び交った。

当日は、外来種であるミシシippアカミミガメをどうするかなど、数多くの発表や活発な意見の交換が行われた。本校生物部も**3年連続の発表**を行った。(ちなみに3年間で1番うまくいったのは今回の発表である。)質問もいくつか出たが、なんとか答えられていた。唯一の高校生の発表として注目されていた。

第14回日本カメ会議 特別シンポジウム

アカミミガメ 防除最前線

もうアノカミミガメ、止めようぜー！

● 12月8日(土) 午後 1:00~4:20

● 日本獣医生命科学大学 教育棟 (東京都武蔵野市)

● カメ会議参加費：一般 2,000円 学生 1,000円

● 講演費別途。日本カメ会議の参加申し込みしてください

- 講演 1:05~ 「レンコン田のアカミミガメによる被害と対策」 沢田 英司氏 (徳島県立農林水産総合技術支援センター)
- 講演 1:35~ 「須磨海浜水族園におけるアカミミガメ問題に 関する取り組み」 亀崎 直樹氏 (神戸市立須磨海浜水族園)
- 講演 2:10~ 「個体的外来種としてのミシシippアカミミガメ ~畜園における現状と対策」 安川 雄一郎氏 (高田産生物研究センター)
- 講演 2:50~ 「なぜ、ミシシippアカミミガメの輸入は止められないのか? ~外来種問題を取り巻く国際情勢」 五箇 公一氏 (独立行政法人国立環境研究所)
- 総合討論 3:40~ (コーディネーター：五箇公一氏)

第14回日本カメ会議への参加申し込みは、主催工場のHPのWebフォームからどうぞ

生協工場 カメ会議 で検索! または 当日会場受付

無料公開シンポジウム

絶滅の危機にある ニホンイシガメ

命ごと、絶滅の危機をよそぜー！

● 12月9日(日) 午後 1:30~4:30

● 日本獣医生命科学大学 教育棟 (東京都武蔵野市)

● 参加費無料 申し込み不要

● 希望者は講演費別途 1,000円/名

- 講演 1:36~ 「房総半島におけるニホンイシガメの危機」 小賀野 大一氏 (千葉県野生動物を考える会)
- 講演 2:20~ 「クサガメ日本集団の外来性について」 鈴木 大氏 (九州大学 院 生物多様性講座)
- 講演 3:00~ 「イシガメ、クサガメに出会う。」 青木 良輔氏
- 総合討論 3:45~ コーディネーター：小林 龍太氏 (新潟大学 朱鷺 自然再生学研究所)

第14回日本カメ会議 認定NPO法人 生協工場 〒163-0084 東京都武蔵野市有明 3-20-14 開催日 12月8日 お問い合わせはコチラ TEL & FAX: 03-331-0064 Email: info@seikagyo.co.jp